

Mランドささ山校 ニュース Vol. 44

平成22年11月1日発行 篠山自動車教習所 兵庫県篠山市池上569 TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940
発行責任者 豊田文雄 HP <http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

Mランドファンの集い開催

十月二十四日(日)、第五回「Mランドファンの集い」を開催しました。

まず、挨拶にあわせ基調講話としてMランドオーナーの小河二郎会長より、「三宝」ということについてお話ししました。



参加者を前に基調講話をする小河会長

Mランドは、地域と地球のドライバーを目指しています。これまでゲストが進んで挨拶をしてくれる環境づくりを行ない、現実、周囲からもMランドは凄い、と高い評価をいただけてまいりました。今度は、みなさん方も素晴らしい、と評価を受けていただきたいのです。

そのためにはこれまでにどまらず一層進化することが必要です。これまでの実績を出発点にMランド人の誇りとして、つぎは「三宝」ということについてみなさんと共に取り組んで行きたいのです。そうすることで必ず日本は変わります。素晴らしい国になります。一緒にやって是非ともこのことを実現させましょう。

Mランド人の誇り(三宝)

一、電車やバスなど乗り物に乗った時は立っていることを原則にしましょう
座るのはご婦人や子どもです。

世間の人がみえています。
この人は、国の宝です
二、公共の場に駐車する時は出入口に遠い所に駐車しましょう

この人こそ地域社会の宝です
三、家庭での挨拶の順番
まず父親から先に挨拶しましょう
お父さんおはようございます
(帰りました)
皆さんおはようございます
(帰りました)
それで父親は変わります。
あなたの家族は変わります。
あなたは家の宝です

シンポジウム

以上の話を受けて、谷口インストラクターの進行で卒業生の代表の方三名にご登壇いただき対話会を行いました。

まずMランドでの思い出などを話していただいた後、最初の「乗り物では立っていること」、そして二番目の「駐車場では遠くに駐車すること」について、普段の様子や感想を発表していただきました。基本「譲る」ということを意識しているのご意見が伺えて、さすがMランドの卒業生ととても嬉しく思いました。
三番目の「挨拶の順番」については、それぞれの家庭での様子を伺っていくうち、父親の存在感や前向きな気持ちを垣間見たように思います。



左から司会の谷口 ins、大藤さん、奥井さん、川崎さん

最後に会場のみなさんにもこの「三宝」に対するご理解と、共に取り組んでいくことを呼びかけました。

この対話会を通して卒業生の方々の成長を実感することができ、また強い絆で結ばれていることをとても嬉しく思いました。
この三つの宝を大切に私も成長し続けていきます。

宣言

(谷口 健)

コースの一角にMランド人の誇り、「三宝」の宣言文を卒業生、ゲスト、地域の方、社員そしてその家族のそれぞれの代表の手によって掲げました。小河会長が署名の後、これを全員で唱和して新たな挑戦の始まりの宣言としました。



各代表の手により宣言文が掲げられました

事務局長 南勝 宏幸
たくさんのご参加をいただき本当に感謝しております。ありがとうございました。

早朝のボランティア清掃から始まり、ただ参加するだけでなく運営にも関わっていただくなどMランドの想う共創と共育を見たとように思います。地域、家族、ゲストの皆様は、他にはない私たちMランドの「本気」(一生懸命)におおいに期待されていることをひしひしと感じました。

今回のテーマは「三宝」を絆で造り、Mランドから新時代を発信しようというものです。今日それぞれが絆を深め、Mランド人としての誇りを皆様と宣言できたことをたいへん嬉しく思い、またここからがスタートとなります。共に良い日本を創っていきましょう。



スタッフ全員が勢揃いし、参加者にお礼の意を述べました

掃除に学ぶ会

『ファンの集い』のスタートはボランティア活動として、篠山市内の五か所（二階町、三の丸広場、立町、河原町の公衆トイレと八上小学校）のトイレ掃除を行ないました。



午前7時前の受付の様子

前泊の卒業生や当日早朝の集合にも関わらず積極的に駆けつけてくれた約八十人の参加者はたっぶり一時間半かけてトイレをピカピカに磨いてくれました。
 こんなにたくさんの方々に参加していただき感激しました。掃除を終えたみなさんの晴れ晴れとした表情は、役に立てたこととやりきったことの喜びで輝いていました。
 （井本 徹）



便器にこびりついた尿石を一心に取っています

ハガキを書く

世はデジタル化の中で通信手段も携帯電話、電子メール、書面も機械的な活字が多くを占めています。早くて、手軽となると若い人の中には手紙やハガキを書いたことがない方も相当いらっしやいます。丁寧に思いを込めた文字には力があります。この日の素直な気持ちを大切な人に伝えました。
 （中野 聡）



相手の事を思い、感謝の気持ちを書きました

会場レポート

《特技披露》

四組、八人の方が特技披露をしていただきました。



指導員とのコラボで盛り上がりました

《お茶席》

茶道には日本の誇りが凝縮されています。背筋を伸ばしてお抹茶とお菓子を楽しんでいただきました。



着物姿も艶やかに、小川さんと中島室長（右後方）

《うまいもの屋台》

丹波篠山特産黒枝豆と粟を使ったむすびや名物し汁をはじめとして、唐揚げ、焼きたこ焼き、焼きそば、玉子せんべい等々をご用意しました。



あったかいし汁を求めて列ができました



益田校からの応援屋台「広島焼き」は人気！

今回はゲストのボランティアスタッフも登場し、ここでも共に創る集いとして絆を深めることができました。また、支払いはMマネー（Mランド限定通貨）を使っただきました。（谷口 歩）

《カーパフォーマンス》

メンバー同士お互いを信じ認める関係が絶対条件のカーパフォーマンス。一つのものを創り上げていく楽しさと美しさ、そして深い絆で結ばれたチームワークの素晴らしさを皆さんにご覧いただきました。（宮林 修）



フォーメーションを変えながら迫力満点

《歴史講座》

謎の武者が戦国のハ上城の戦いについて講しました



《応援歌披露》

不思議ユニット「サイドギャザー」
「明日があるさ」の替え歌を歌う



編集後記

近くにある八上小学校二年の児童七人が企業見学の授業で来社しました。所内にある挨拶についての掲示を元気な声で唱和してくれました。



永井所長の説明を真剣に聞く児童

Mランドは運転免許を取得するためだけにあるものではありません。MランドのMはメンタル（心）のMー心を学ぶ国。人はそれぞれの成長、勇気と希望を求めて集うものです。（文）



『第5回ファンの集い』集合写真

ゲスト・卒業生・地域の方・社員とその家族